



日本代協は3月11日、東京・千代田区の損保会館で平成23年度臨時総会を開催した。総会では日本代協と損保協会が合同で検討を進めている募集人認定制度についての進捗状況や想定される制度概要について報告。また、役員改選が行われ、荻野明廣会長が任期の途中で会長を退任。新会長に岡部繁樹副会長(岐阜代協)が就任した。

## 日本代協

### 平成23年度臨時総会を開く

#### 募集人認定制度の進捗状況など報告

総会に先立ち挨拶した荻野氏は、損保協会と合同で検討を進めている新募集人認定制度について言及。新制度の立ち上げについて「損保協会と日本代協が将来にわたって協力し合って進んでいくことになるため、今後、損保協会の各支部と各代協の関係、各損保会社と代協会員の関係にも大きく影響して行くことになる」と述べるなど、業界全体での取り組みとなることを強調した。また、任期途中で自身の退任については「23年度が日本代協にとって第2の発展期になる」と位置づけ、たうえで若い世代にリレー役を託すため会長の交代を決めたこと述べた(荻野氏の挨拶要旨は別掲)。

総会では、23年度事業計画を説明。損保協会と合同で検討を進めている新募集人認定制度の検討状況等について報告があった。新制度では、損保一般試験の合格者がさらにステップアップを目指し、消費者の代理店選びのメルクマールとなるようなものを業界全体で設けること、そのための教育プログラムとして日本代協が持つ保険大学校の仕組みや各種プログラムを活用することになることなどを報告した。

その他の事業計画では各代協に広報担当者を設置すること、全国での広報活動の強化を図っていくことを確認。また、(財)中小企業診断協会との提携により、会員代理店が中立的な経営診断を受けられるサービスを実施できないか検討していることなどを報告した。

日本代協の公益認定申請については、昨年3月に申請を一旦取り下げた経緯をふまえ、日本代協を取り巻く環境の変化や将来展望を見据え、今年度、改めてヒュン委員会において公益認定を目指す方向で検討を進めることとした。また従来の総会に代わり全国の会員が集まる場として、今年11月に東京の新橋でコンベンションの開催を決定したことを報告した。



東京・千代田区の損保会館で開催

本年度の日本代協の取り組みのなかで特筆すべきことは、日本代協と損保協会での新たな認定資格制度の創設に向けて、前向きな検討が進められてきたということだ。その制度の概要がほぼ、まとまり、正式には3月17日の損保協会長の定例記者会見で公表される予定だ。いよいよ業界共通の認定資格制度が創設され、日本代協がその一翼を担うことになる。この制度は業界全体の制度と

#### 荻野明廣前会長 挨拶要旨



荻野前会長

して大きく発展することになる。何よりも損保協会と日本代協が将来にわたって協力しあって進んでいくことになるため、今後、損保協会の各支部と各代協の関係、各損保会社と代協会員の関係にも大きく影響して行くことになる。また、この新資格制度を通して、そぞくと保険のプロが誕生すると思う。

プロとは専門知識を持ち、その知識を実務に生かしていくものと考えている。こうした人たちが募集の最前線で活躍することで、保険業界は大きく変わっていく。この資格制度の創設はまさに、プロを主体とした損保業界になることを示唆するものだ。また、日本代協の標榜する公的資格の実現にも一歩前進することになり、その意味でも消費者の信頼を勝ち得なければ、保険業界の発展はあり得ない。

認定保険代理士の方々は新認定資格制度における第1号の認定者となることが見込まれる。いよいよ日本代協と日本代協会員が核となり、新時代を切り開いていくときがやってきた。従って、私はこの23年度から日本代協の第2の発展期と位置づけ、新たなステージに入ることを宣言させていただきます。

#### 岡部繁樹新会長 就任挨拶



岡部新会長

—— 会長としての抱負。

地域で活躍する代協会員ならではの、例えば銀行や保険ショップにもできないような地域密着の

代理店にしかできないことを社会貢献とともにやっていきたい。その上で消費者から支持を得られるような活動を通して、保険のプロといわれる代理店の地位向上を目指していきたい。地域密着という点に主眼を置いたうえで、取り組みを日本代協の事業計画に盛り込みつつ、代協会員にしかできないことを明確に打ち出して、推進していきたい。荻野前会長もおっしゃったが、第2の発展期を損保協会と力を合わせて推進していきたい。

—— 岐阜代協の所属というところで会長職務の負担は大きいと思うが、距離は通信技術の発達によりカバーできるようなっている。日本代協の会長は在京の方というイメージが私にもあった。しかし在京の代理店でもなくとも会長を担えるということや、こうした点も含めて日本代協は変化しているのだということを示していきたい。この点は荻野前会長の強い意志でもある。しかも、私はごく平均的な規模の代理店の経営者だが、その分、多くの会員代理店と同じ目標に立って物事を考えることができる。そんな点も日本代協の内外に示していきたいと思っている。